

退任のごあいさつ

勧修中学校に着任させていただいてから、あっという間の3年間でした。着任者として初めて勧修中学校に来た時、大きな声であいさつをしてくれる生徒たちと出会い、とても頼もしく、またうれしく感じたことが印象的でした。勧修中での入学式で迎えた生徒たちは、卒業間近に私に卒業証書と記念の品を渡してくれました。涙は出ずとも大きく心が揺さぶれる出来事でした。

私自身がこの学校で言い続けてきたことは、「少し先の目標に向かって全力で取り組むこと」です。それは、目標の達成感や充実感をたくさん体感してほしかったからです。成功は自信を生み、次への意欲につながります。そんな中学生であってほしいと思っています。

教職員に対しては、「学校で一番大切なものは『授業』」と言ってきました。様々な個性の生徒たちの状況をしっかりと把握し、「わかる・できる・関わり合える授業」ができていれば、生徒たちは自分の目標をしっかりと持ちながらその実現に向けて必要な知識の獲得や体験活動を積極的にするようになる、と考えたからです。

私自身が「勧修中学校で何ができたのだろうか」と考えるとその答えはなかなか出てきません。しかし、毎日のように生徒たちの笑顔を多く見ることができたことがとてもうれしいことでした。

今年度末で、退職という形で勧修中学校を去ることとなりました。私自身も今後の目標を見つけ、生徒たちのように精一杯取り組んでいけるようにしたいと思います。

最後に、保護者の皆さま、地域の皆さま3年間ありがとうございました。

令和3年3月末
京都市立勧修中学校
校長 竜田 潤一